

FLOAT KITE

「新しいコンセプト」で開発されたFLOAT KITEは、飛行機に似た飛びをします。釣竿とリールを使った、凧あげ・ラジコン操作・釣りを同時に楽しむことが出来るハイブリッドカイトになっていますので、今までにない凧あげを体験出来ます。

すなわち、従来の凧とは違い、飛行機似た飛行をするカイトなので、戦闘機のように俊敏に、上昇・下降あるいは左右の動きをしたり、時には、水平状態でホバーリングをすることが出来るようになっています。

釣竿とリールの操作で、空中でグライダーのように滑空させたり、上昇下降等の動きをコントロールすることが出来ますので、空に向かって「魚釣り」している感覚を楽しむことが出来るのです。

なじみの洋風カイトよりも、風に対する適応範囲が広く・かつよく揚がります。そして、最近流行しているハイクカイトよりも、微風でも揚がります。



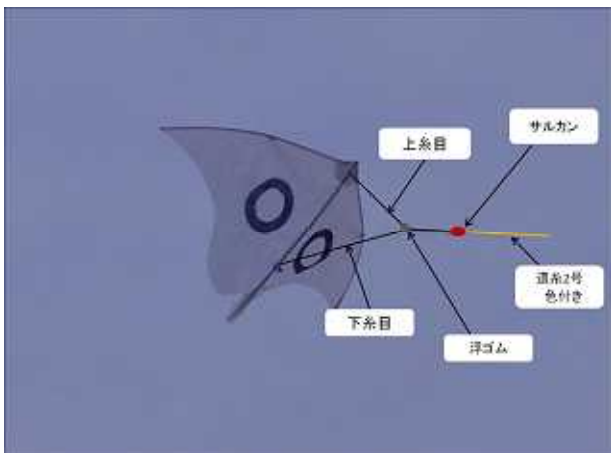
上昇中



凧の全景・収納時と釣竿

凧は、90センチ×45センチ 重量19グラム
折りたたんで収納可能です。

タイコリールの道糸は2号、(120メートル)



ホバーリング中



FLOAT KITEの遊び方

釣竿とリールの操作によって、FLOAT KITEは上下・左右に動きます。

竿を立てたり寝かせたり、リールを開放したり巻いたりする操作はフィッシングそのものです。道糸を緩める(リールを開放する)と、ホバーリングをするようになります。

風の状態によって、ホバーリングしながら、上昇・下降・停止・前進することがあります。

凧がそのままの姿勢で下降するときは、道糸を張ってください。

逆さまに落ちるときは、道糸を緩めてください。墜落が止まります。その後で、道糸を張れば、180度反転し急上昇し始めます。(糸目の調整の仕方と凧を揚げる人の技量によりませんが、地上すれすれにまで急降下させたり、頭上まで上昇させたりする操作が面白いのです)

風の強さに関係なく、凧にかかる力が出来るだけ少なくなるように調整します。

即ち、上・下糸目の長さを変更し、強風時でも道糸にかかる力が10センチ程度のバスが釣れた時ぐらいの張力になるようにします。凧は安定します。一回の調整は5センチから10センチで行います。

構造もシンプルで、製作も容易です。自作に挑戦しようと思われる方はご一報ください。

<http://www4.ocn.ne.jp/~akon>
akondo4649@yahoo.co.jp